

2017 全日本 F3 第 1 戦 第 2 戦 第 3 戦  
岡山国際サーキット  
2017 年 4 月 1 日

予選 観客: 1,050 人 天候: 曇り時々晴れ

2017 年全日本 F3 選手権シリーズは岡山国際サーキットから開幕。今年ドライバーの顔ぶれは、昨年にステップアップを果たし、F3 二年目の坪井 翔と昨年の FIA F4 チャンピオン宮田莉朋。マシンカラーリングも新たなスポンサーによって一新されて予選に臨んだ。予選方式も新たに 30 分間の一本勝負で行われ、その間のベストタイムで第 1 戦、セカンドベストタイムによって第 2 戦のグリッドを決した。また、決勝第 1 戦の結果によって第 3 戦のグリッドが決定される。気温が低く、前夜に降った雨の影響でコースはハーフウエット状態で予選が開始され、走行ライン上が時間を経るにつれてドライへと変化した。F3 初予選で宮田が両レースの 2 番手グリッドを獲得。坪井は 4 番手グリッドを得た。



- 路面温度が低く、セッション最初は路面が濡れていてタイムアタックのチャンスはセッションの終盤。坪井翔はセッションの中盤で一度ピットインしてタイヤ交換する作戦をとり、宮田莉朋は 30 分走行を続けて共に最後にアタックをかけた。
- 坪井は、クリアラップをとれずに思うようにタイムアップ出来ないままセッション終了。宮田莉朋は序盤タイヤを酷使することなく温めて終盤にアタック。作戦はうまく進んだが、一歩及ばず、ポールポジションを獲得することはできなかった。

Drivers	Car No.	Qualifying for 1	Qualifying for 2
坪井 翔	1	P4 1:23.865	P4 1:24.077
宮田 莉朋	36	P2 1:23.220	P2 1:23.529

天候	曇り時々晴れ / ハーフウエット	
気温 / 路面温度	気温 15-9 度 C	路面: 13-14 度 C

坪井 翔 (1 号車ドライバー)



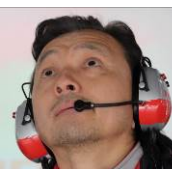
「一周もクリアラップが取れませんでした。マシンのバランスも良かったので上手く場所取りできなかったのがポールポジションを取れなかった一番の原因ですね。ポールのタイム見ると充分に出せるものでしたので悔しいです。ニューマシンのキャラクターも分かったし、まだ 100% ではないですが良い仕上がりになってきています。ここ岡山はスタートが重要なのでスタートで順位を上げて優勝を狙います」

宮田 莉朋 (36 号車ドライバー)



「30 分の予選方式については、F4 も同じ方式だったので戸惑いはありませんでした。しかし、コンディションが難しく、ボクは 30 分間終始走行する作戦だったのでタイヤグリップのピークを最後に持って行くことに集中しました。結果としては失敗でもなかったし、うまくいったわけでもなかったという予選です。前日のドライコンディションではトップタイムを出していたし、もう一周あったらポールは取れたかなと思います、まずまずの結果だと思います」

山田 淳 (エンジニア)



「ポールポジションタイムを見ても十分に二人のドライバーが同じタイムか、それ以上のタイムを出せた予選だったと思いますが、坪井(翔)は一度もクリアラップをとることができなかったし、宮田(莉朋)は最後のアタックで他車に引っかかって、ポール獲得ならずの予選でした。コンディションも悪く、ダンプコンディション(濡れた)だったし、30 分の本勝負は相当上手く走らないとどうしてもスロー走行のクルマに引っかかってしまう状況でした。二人は作戦を変えてアタックしましたが、坪井(翔)はピットインし、再びコースインしたときにも上手く前車と間隔を保ってアタックすることが出来なかったようです。二人ともに開幕戦へ向けて調子を上げて来ていただけに残念です」

関谷正徳



「新たなシーズンの開幕を迎えて、坪井(翔)と宮田(莉朋)でフロントローを獲得するべき臨んだ。ハードウェア、作戦両面で十分に目標は達成出来ると確信していたが、現実とは違っていた。それは、ドライバーの経験の少なさが一番大きいと考える。決勝では、順位を上げて両選手に優勝を争って欲しいと思っている」

2017 全日本 F3 第 1 戦 第 2 戦 第 3 戦  
岡山国際サーキット  
2017 年 4 月 1-2 日

決勝

観客: 1,200 人 天候: 曇り時々晴れ/晴れ時々曇り

岡山国際サーキットで行われた全日本 F3 選手権シリーズ第 1 戦、第 2 戦、第 3 戦は、第 1 戦を土曜日に行い、翌日曜日に 2 レースを行うというスケジュール。宮田莉朋が F3 初参戦ながら全てのレースで 3 位を獲得してまずまずのシーズンスタートを切った。坪井 翔は、素晴らしいスタートを見せて第 1 戦を 2 位フィニッシュ。しかし、第 2 戦、第 3 戦では果敢に攻めの姿勢を見せながらも、表彰台に立つ事はできなかった。



- 開幕戦で坪井 翔、宮田莉朋両選手上手いスタートを決めた。しかし、宮田は、前のマシンがスタート後の速度が伸びずに前を塞がれてしまった。坪井(翔)は 4 番手から一気に順位を上げて 2 位へ、これに宮田(莉朋)が続いて 2 位、3 位でフィニッシュ。
- 第 2 戦でも坪井(翔)は素晴らしいスタートでトップを伺ったがヘアピンコーナーのブレーキングで先行しサイドバイサイドで通過しようとした時にイン側のマシンが迫って来たので接触を避けて順位を下げてしまった。序盤に宮田(莉朋)をパスして 4 位へ。そして最終ラップのダブルヘアピンで表彰台を目指して前車を半車身リード。しかし、走路を塞がれてコースオフ。その場でエンジンが再スタート出来ずにストップしてしまった。坪井(翔)を押し出すかたちとなったドライバーはペナルティーを受けて順位後退。宮田(莉朋)が 3 位を獲得した。
- 第 3 戦で坪井(翔)がスタートで痛恨のエンジンストール。1 周目は 7 位まで順位を下げてしまった。2 周目に 6 位、4 周目に 5 位まで順位アップしたものの、前車に迫りながらもそのままゴールとなった。宮田(莉朋)は、スタート順位をキープして 3 戦連続の 3 位で締めくくった。

Drivers	Car No.	Round 1/ Fastest Lap	Round 2/ Fastest Lap	Round 3/ Fastest Lap
坪井 翔	1	P2 1:22.424	P9 1:22.210	P5 1.22.018
宮田 莉朋	36	P3 1:22.470	P3 1:22.250	P3 1.21.804

天候	曇り時々晴れ/ハーフウェットドライ	晴れドライ	曇り時々晴れ/ドライ
気温/路面温度	気温: 14-16/13-13/14-15 度C	路面: 30-31/27-28/ 23-23度C	



坪井 翔 (1 号車ドライバー)

「やってしまいました。今回第 2 戦までスタートが良かったので、狙っていったのですが、エンジンを止めてしまいました。いつも通りにクラッチミーとしたつもりだったのですが一気に繋がってしまってストールしてしまいました。勝てるチャンスを自分でつぶしてしまいましたね。追いつけはできませんでしたが、前のマシンに追いつくとダウンフォースが抜けてしまって思うように順位を上げられませんでした。ここ岡山に限らず、予選での順位は重要ですね。次戦鈴鹿は、予選からきっちり組み立てられれば、勝利は見えると思います」

宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)

「最初の F3 イベントで、全て 3 位を獲得できて良かったなと思います。第 2 レースは運に助けられてという点もありました。レース中のペースも悪くなかったと思います。しかし、新たに自分に対する課題も出てきました。スタートの仕方をもっと上手くしないとなりません。スタート後のホイールスピンが多くて車速が伸びなかった。それを克服しないとなりません。次の鈴鹿までに今回のレースを分析して前に進みたいと思います」

山田 淳 (エンジニア)

「第 3 戦は勝つチャンスが濃厚だったのに坪井(翔)がスタートでエンジンを止めてしまった。パッシングが難しい岡山で何とか 5 位まで挽回しましたが、それまで。抜きにくいというサーキットで過去にはトップに立って優勝したドライバーだっているわけですから F3 が 2 年目の坪井(翔)には厳しいようですがそれを望みたいですね。宮田(莉朋)は、自分が出来る範囲内で頑張った結果としての連続 3 位。これは評価できると思います。今後も学んでもっと良い成績を示してもらいたいと思います」

関谷正徳

「坪井(翔)は、第 3 戦で大きなミスをしてしまった。前の 2 レースで素晴らしいスタートを切れていたのに、われわれも期待していたし、彼自身が一番狙っていたのだと思う。しかし、気負いすぎたかも知れない。これも経験不足か。宮田(莉朋)は、結果として F3 参戦初のイベントで全てを 3 位フィニッシュという素晴らしい結果で終わることができた。チームとしては、1 勝も出来なかったのは残念。次戦は勝利を是非とも手にしたい」

